

広報計画

平成 2 0 年 1 1 月 5 日

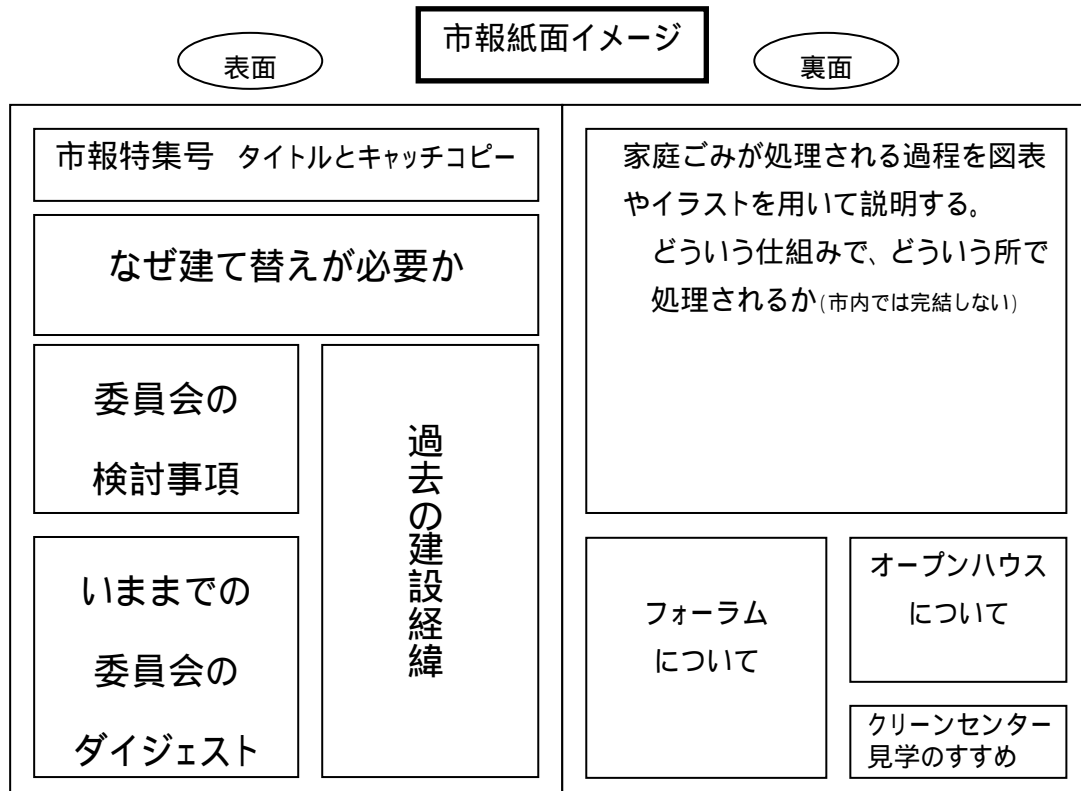
広報計画小委員会

市報特集号 企画書

- 目的** クリーンセンター建て替えについての周知及び、建て替えをきっかけとした市民の環境に対する意識の啓発を促す。
- 方法** (仮称)新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会の委員主導の下、市報特集号を発刊する。
- 内容** 現施設建設の経緯、建て替えの必要性、当委員会での検討内容などを表面として、裏面ではごみの行方についてクローズアップする。

(スケジュール案)

- 10月15日(水) 委員会にて承認
- 10月23日(木) 第一回打ち合わせ。紙面のコンセプトを決める
- 11月5日(水) 委員会で、紙面のコンセプトについて議論していただく
- 11月13日(木) 第二回打ち合わせ。原稿の内容、分担などを決める。(デザイナー同席)
- 11月14日(金) 原稿の分担を整理して依頼する
- 11月25日(火) 原稿締切
- 11月26日(水) デザイナーと打ち合わせて第一稿の案を作成
- 11月27日(木) 委員会で、第一稿の案について意見をいただく
- 12月4日(木) 第三回打ち合わせ。第一稿の案を修正
- 12月8日(月) デザイナーより第一稿を受け取り、広報課に提出
- 12月15日(月) 広報課と打ち合わせ
- 12月18日(木) 第三回打ち合わせ。広報課の意見を受けて最終稿を完成させる
- 12月22日(月) デザイナーより最終稿を受け取り、広報課に提出
- 1月15日(月) 特集号が発刊



コミュニティセンター勉強会 企画書

目的 クリーンセンター建て替えについての周知及び、建て替えをきっかけとした市民のごみ減量等に対する意識の啓発を促し、全市的に実施することクリーンセンター建て替えへの関心を喚起する。

方法 市内各所のコミュニティセンターにおいて、建て替えの説明と意見交換を通して自分の問題として考えるよう促す。アンケートを取り、意見交換の内容と共にまとめデータベースとする。

内容 下記の説明を行う

なぜ建て替えが必要か、及び（仮称）新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会の検討項目（施設基本構想とパワーポイントを使って）過去の建設経緯を通して、「市民参加」「ごみの自区内処理」「周辺住民の立場」について理解を促す（パワーポイント利用）

家庭ごみの行方。どのごみがクリーンセンターに運ばれ、どのように処理されるか。それ以外のごみは、どのように処理されるのか。

（武蔵野市だけでは処理できない）

リサイクルは大事であるが、リサイクルを行うためにはエネルギーやコストが必要であり、減量が一番重要であるということ

上記の説明の後、新しいクリーンセンターに求めること、自分たちがしなければならぬ事を主なテーマとして意見交換を行っていただく。

配布物 クリーンセンターパンフレット
施設基本構想
運営協議会 20 周年
季刊むさしの

日程 12 月から開始。今年度中は 3 ヶ所。来年度以降継続。
（仮）吉祥寺北・・・12 月中旬
境南町・・・1 月下旬
吉祥寺南町・・・3 月上旬

コミセン

クリーンセンター建て替え勉強会

市役所の隣に建っているクリーンセンターは24年が経ち、建て替えに向けて検討がスタートしました。ごみは、家庭から出され、クリーンセンターに毎日持ち込まれ、24年間フル稼働で焼却されています。クリーンセンターの建て替えは、全市民の問題です。コミュニティセンターで勉強会を開催しますので、ぜひ、ご協力ください！

市内各所のコミュニティセンターを巡り、随時開催します！

内容

なぜ建て替えが必要か、及び（仮称）新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会の検討項目

過去の建設経緯

（キーワード：「市民参加」「ごみの自区内処理」「周辺住民の立場」）

家庭ごみの行方

（どのごみがクリーンセンターに運ばれ、どのように処理されるか）
（それ以外のごみは、どのように処理されるのか）

ごみ減量の重要性

（リサイクルだけでは充分でない）

これらの説明を行った後、新しいクリーンセンターに求めること、自分たちがしなければならない事を主なテーマとして**意見交換**を行っていただきます。

本年12月から開始。今年度中は3ヶ所。来年度以降継続。
（仮）吉祥寺北・・・12月中旬
吉祥寺南町・・・3月上旬
境南町・・・1月下旬

お問い合わせ先

武蔵野クリーンセンター 〒180-0012 武蔵野市緑町3丁目1番5号

TEL: 0422-54-1221（直通） FAX: 0422-51-9194 E-Mail: cnt-clean@city.musashino.lg.jp